



七夕さんさ会 (花巻温泉病院：関連記事P8)



主な内容

- 巻頭言——— 歯科医療センター長就任のご挨拶
- 創立120周年に向けて——— 記念イベント「健康フェス2015」
- トピックス——— オープンキャンパス2015が行われました  
平成27年度市民公開講座が行われました
- フリーページ——— すこやかスポット医学講座  
「難治性神経性疼痛に対する脊髄刺激療法」

## 歯科医療センター長就任のご挨拶

歯科医療センター長

**野田 守**

(歯科保存学講座う蝕治療学分野 教授)



平成 27 年 4 月 1 日より岩手医科大学附属病院歯科医療センター長を拝命いたしました。附属病院矢巾移転ならびに内丸メディカルセンター構築の重要な時期に少しでも貢献できるように微力ながら全力で打ち込む所存でございます。何卒よろしくお願いたします。

皆様もご存じのとおり、歯学部はただいま改革が進行中であるとともに開設 50 周年という節目の年を迎えました。今後さらに岩手医大の発展に貢献できるように将来を見据えた組織づくりを何とか進めていきたいと考えております。

歯科医療センターを取り巻く社会的環境は、皆様もご存じのと通りの超高齢社会であり 65 歳以上人口が急速に増加しています。当センターでも受診者の平均年齢は着実に上昇しています。それに伴い、内科疾患をはじめとする複数の疾患を患いながら歯科治療に訪れる方が大半となっています。医科歯科の連携は必須であり、周術期口腔機能管理が保険収載されたことも、こういった時代を反映しているものです。周術期口腔機能管理では、弁膜症をはじめとする循環器疾患の周術期における口腔経由での細菌性心内膜炎予防、がん治療に際しての化学療法や放射線療法にともない発生する口腔粘膜炎の管理を主として行っ

ております。また、ビスフォスフォネート（骨粗しょう症等の治療薬）関連薬剤使用前での口腔内精査、管理も増加しております。今後も連携を強化して岩手医大付属病院を受診される方々の健康に寄与できることを望んでいます。

一方で歯科医療センターは医学部歯学部を有する大学病院の教育機関でもあります。急速に高齢者型へと変化する疾病構造に対応できる歯科医師を養成することも当センターの重要な役割であります。歯学部研究部門、教育部門と一丸となってこの重責を果たせるように努力してまいります。

こちらに赴任させていただいて 5 年ほどでまだまだ知識や経験の不足があるかと思えます。何卒、皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願いたします。



歯科医療センター

# 岩手医科大学募金状況報告

## 【創立120周年記念事業募金】

平成26年6月から始まりました岩手医科大学創立120周年記念事業募金に対し、特段のご理解とご支援を賜りました皆様方お一人おひとりに、厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

今後とも格別なるご支援・ご協力を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

今回は第5回目の御芳名紹介です。(平成27年5月1日～平成27年6月30日)

※御芳名及び寄付金額は、広報を希望されない方は掲載しておりません。

### ●法人・団体等（6件）

<30,000,000>	株式会社	こずかたサービス（岩手県盛岡市）	
<2,000,000>	医療法人	梶栄会 ゆかわ脳外科（岩手県花巻市）	
<1,000,000>	医療法人	朝陽会 わたなべおしりのクリニック（岩手県盛岡市）	
	四交会	（岩手医科大学医学部第4期）	
	医療法人社団	仁徳会 徳永整形外科病院（宮城県大崎市）	
<御芳名のみ掲載>	医療法人	藤田クリニック（長崎県長崎市）	（順不同、敬称略）

### ●個人（19件）

<1,010,000>	三上 規（父母）	菅原 理恵（医39）	佐々木 幸充（父母）
	熊谷 敦史（歯13）	高橋 秀明（元職員）	大平 和輝（医37）
<1,000,000>	鎌田 守俊（父母）	千葉 俊美（教職員）	土方 美佐子（父母）
	中村 豊（教職員）	前田 厚志（父母）	太田 稔（名誉教授）
<10,000>	梅村 芳文（医29）		

区分	申込件数	寄付金額（円）
圭陵会	247	207,380,000
在学生ご父母	189	124,565,000
役員・名誉教授	26	25,160,000
教職員	64	11,077,000
一般	17	7,850,000
法人・団体	62	192,300,000
合計	605	568,332,000

（平成27年6月30日現在）

## 表彰の 栄誉

左／教養教育センター物理学科・佐藤英一教授が日本医学物理学会学術大会で英語プレゼンテーション賞を受賞しました

右／教養教育センター物理学科、医学部放射線科、東邦大学外科の共同研究グループが医用画像情報学会から内田論文賞を受賞しました

このたび、第109回日本医学物理学会学術大会（平成27年4月16～19日、パシフィコ横浜）において、英語プレゼンテーション賞を受賞しました。

演題名は「YAP(Ce)-MPPC検出器を使ったX線スペクトルの測定とデュアルエネルギー断層撮影（CT）への応用」です。近未来のX線CTスキャナーはフォトンエネルギーを選択できるフォトンカウンティング式のものになると予想され、世界各国で研究されています。一般に、カウンティングにはテルル化カドミウム検出器を用いますが、最大カウントレートが1ピクセル当たり5キロカウント毎秒（5 kcps/pixel）程度であることから、撮影時間を短くすることが難しいわけです。本研究では最大レートが約1,000倍の5 Mcps/pixel高速YAP(Ce)-MPPC検出器を開発し、X線スペクトルを測定して、ヨウ素造影剤を使ったKエッジ強調造影に成功しました。

今回、日本医学物理学会（旧医学放射線学会物理部会）からは賞状および副賞として図書券1万円をいただきました。来年度は大会長賞を目標にして、研究計画を立てているところです。（文責：佐藤英一）



この度、医用画像情報学会から平成26年医用画像情報学会内田論文賞を受賞しました。この賞は平成26年において医用画像情報学会に投稿された論文の中から選考された最優秀論文の執筆者等に与えられます。この論文は平成25年度の医学部初年次ゼミにおいて行われた実験結果を投稿した英語論文で、論題は「周波数・電圧変換器を用いたパイルアップ無しのテルル化カドミウムX線CT撮影における画質改善とヨウ素イメージングへの応用」で、著者は島村杏那、佐藤英一、鹿内俊介、北上慧、中屋一碧、西村和佳乃、佐藤裕一、山口哲、小田泰行、萩原令彦、松清大、榎本俊行、渡邊学、草地信也、江原茂で、下線の著者は初年次ゼミに参加した医学部の学生です。

汎用CTと比して、フォトンカウンティングCTでは画像の粒状性が問題になり、積分器の付いた周波数・電圧変換器を開発してCTシステム搭載し、画像の粒状性を改善しました。授賞式は大阪物療大学で開催され、通信著者の佐藤英一教授が受賞記念講演を行い、医用画像情報学会員への賞状と副賞4万円をいただきました。（文責：小田泰行）



～ 創立 120 周年に向けて ～

# 健康フェス2015

～いきいき 元気 健康家族～

本学では、2017年4月に迎える創立120周年の記念事業の一環として、「健康」をテーマに本学が有する「医の力」、「知の力」を発信し、県民皆様の健康への関心を高めるとともに、地域とのつながりを深めることを目的とした一般市民参加型・体験型イベント「健康フェス2015」を開催します。

本号では、そのイベント概要をご紹介します。

## 基本情報

日 時 —— 平成 27 年 9 月 12 日 (土) 午前 9 時 30 分～午後 4 時 00 分

会 場 —— 矢巾キャンパス (矢幅駅から無料シャトルバス運行)

対 象 —— 一般市民 (参加無料)

教職員の皆様もご家族をお誘い合わせの上、奮ってご参加ください！

※キッズスペースもあります

テーマ —— ～いきいき 元気 健康家族～

後 援 —— 岩手県、盛岡市、矢巾町、岩手県医師会、岩手県歯科医師会、盛岡市医師会、盛岡市歯科医師会、紫波郡医師会、岩手医科大学医師会、岩手県薬剤師会、岩手県病院薬剤師会、岩手県看護協会、岩手県栄養士会、岩手県調理師会、岩手県理学療法士会、岩手県臨床衛生検査技師会、岩手県歯科衛生士会、岩手県歯科技工士会、岩手県医療機器販売業協会、岩手日報社、盛岡タイムス社、NHK 盛岡放送局、IBC 岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手

## オープニングセレモニー

9:40～10:40

**基調講演「創立 120 周年記念事業について」**

理事長 小川 彰

10:40～11:40

**特別講演「いのちが最優先される社会の実現」**

参議院議員・岩手医科大学客員教授 川田 龍平 氏

## 川田 龍平 氏 プロフィール

東京都小平市出身、東京経済大学卒。厚生労働委員、東日本大震災復興特別委員。子ども被災者支援法発議者。子ども被災者支援議連事務局長。薬害再発防止議連事務局長。

生後6ヶ月で血友病と診断され、治療のために投与された輸血血液製剤によりHIV感染。1986年母親から感染を告知される。1993年「薬害エイズ事件」の国と製薬会社の責任を問う東京HIV訴訟原告に加わり、1995年3月実名を公表。同年7月、3,500人とともに「あやまってよ95'人間の鎖」で厚生省(当時)を取り囲む。翌年3月実質勝訴の和解を勝ち取る。その後、衆議院議員川田悦子秘書、松本大学非常勤講師を経て、2007年7月東京選挙区で42年ぶりとなる完全無所属で参議院議員に当選。本学客員教授。



公開講座	11:30 ~ 12:10	「不妊フォーラム～赤ちゃんを望む すべての方へ～」 産婦人科学講座 助教 尾上 洋樹	キャンパスモール ラーニングcommons
	13:00 ~ 13:40	「今からでも遅くない、糖尿病予防」 内科学講座糖尿病・代謝内科分野 教授 石垣 泰	東2 C 講義室
	13:50 ~ 14:30	「歯とかみ合わせと全身の健康」 補綴・インプラント学講座 教授 近藤 尚知	東2 D 講義室
	14:00 ~ 14:40	「体の中に薬を作る」 神経科学講座 教授 駒野 宏人	東2 C 講義室
	15:20 ~ 16:00	「医療情報とのつき合い方」 人間科学科哲学分野 教授 遠藤 寿一	東2 D 講義室

① 10:30 ~ ② 14:00 ~ ③ 15:00 ~ **ドクターヘリ見学**

担当：救急センター  
各開始時間にキャンパスロータリーからシャトルバスを運行（各先着 25 名）



10:00 ~ 16:00 **DMAT 車両展示**



10:00 ~ 16:00 **ヘルスチェック（多目的ラウンジ）**

担当：健康管理センター、歯学部、看護部  
身長、体重、体脂肪、血圧、血管年齢、骨密度、ストレス値、血糖値



10:00 ~ 16:00 **健康相談コーナー（多目的ラウンジ）**

担当：健康管理センター

10:00 ~ 16:00 **おくすり相談コーナー（多目的ラウンジ）**

担当：薬学部、薬剤部  
「正しくおくすりを飲んでますか？」  
パネル展示（疾患別の薬の説明、市販薬の使い方、楽な薬の飲み方）を併設



10:00 ~ 16:00 **妊婦相談コーナー（東 SGL 教室）**

担当：看護部  
「地域 みんなで子育て支援」妊婦さんの悩みや不安の解消に向けた相談コーナー  
沐浴体験講座・胎児の心音聴診コーナーもあります

10:00 ~ 16:00 **ウイルス肝炎啓発コーナー（東 SGL 教室）**

担当：看護部  
一生に一回は調べましょう、ウイルス肝炎について



10:00 ~ 16:00 **お口のコーナー（多目的ラウンジ）**

担当：歯科衛生部  
CCDカメラでお口を観察してみよう！歯科衛生士によるブラッシングアドバイスも  
来場者には歯ブラシプレゼント（数量限定）

まだまだ楽しいイベント盛りだくさん！次ページに続きます

## いきいきコーナー

### 14:45～16:00 ヨガ体験（体育館3階柔剣道場）

講師：神経科学講座 駒野 宏人 教授  
※要予約。動きやすい服装でご参加下さい



### 10:00～16:00 栄養コーナー（キャンパスモール）

担当：栄養部  
「地産地消で美味しく減塩」をテーマに、減塩に関するクイズや展示、栄養相談、実際の減塩調理の方法をレクチャーするデモンストレーションと試食会を実施  
デモンストレーション実施時間  
1回目 11:00～ 2回目 13:00～



### 10:00～16:00 救命救急とAED講習会（東SGL教室）

担当：看護部

### 10:00～16:00 リンパドレナージ体験（東SGL教室）

担当：看護部  
「悩んでいませんか、手足のむくみ」  
看護部のセラピストが上肢のリンパドレナージを模擬施術します



### 10:00～16:00 歯科材料体験&プレゼント（キャンパスモール）

歯科技工部で利用する石膏で作った模型をプレゼント（色塗りも出来ます）  
また、わかで作るシャボン玉体験コーナーもあります（食堂棟屋外通路）



### 11:00～14:00 オリジナルワンコイン学食

健康フェス限定のオリジナルワンコイン学食（薬膳）を提供します

## わくわくコーナー

### 10:00～11:00 図書館イベント「Library+」（食堂・図書館棟ラーニングコモンズ）

「どんなお仕事？ー臨床心理士ー」

### 10:00～16:00 松ぼっくりアイス販売（キャンパスモール）

担当：学友会 雫石町にあるアイス屋さん、松ぼっくりのアイスを販売



### 10:00～16:00 産直コーナー（キャンパスガーデン）

矢巾町の農産物や六次産業品の販売コーナー

### 10:00～16:00 薬用植物園案内

担当：学友会 東洋医学研究会の学生が薬用植物園をご案内

#### もちまき大会

大堀記念講堂北側  
屋外特設会場  
(雨天時：屋内特設ステージ)

12:00～

## 元気コーナー

10:00～12:00  
13:00～15:00

### 体力測定 (体育館1階体育学実習室)

担当：体育学科

あなたの体力レベルをチェックしませんか？

筋力（握力）、敏捷性（全身反応時間・棒反応時間）、調整力（輪投げ）



### 13:00～14:00 腰痛・肩こり体操 (東2A-B教室)

担当：リハビリテーション部

肩こり・腰痛でお悩みの方、理学療法士が手軽にできる体操お教えします！

### 12:30～13:30 グルージャ盛岡と遊ぼう (体育館1階アリーナ)

グルージャ盛岡の監督・選手と一緒に体を動かしましょう！

親子で参加もできます。※体育館シューズをご持参下さい



### 13:00～14:00 学術展示スペース (キャンパスモール)

「長寿県1位の長野県と岩手県を比較」衛生検査部

「卒業研究発表の展示」薬学部6年生

## ステージイベント (キャンパスモール北側特設ステージ)

10:00 パフォーマンス同好会

10:30 タケルンジャー&わたまるくんショー①

11:00 いわて国体PRダンスショー

11:30 健康〇×クイズ (学生企画) ※一般の方のみを対象

13:30 さんさ踊り部

14:00 オーケストラ部

14:30 タケルンジャー&わたまるくんショー②

15:00 矢巾北中学校特設合唱部

\\わんこきょうだいまもやってくる!\\



ステージイベント司会



鈴木 清恵 アナウンサー  
(エフエム岩手)



当日はもれなく**記念品が当たるスタンプラリー**を実施します！  
皆様のご来場、お待ちしております！！

●お問合せ／創立120周年記念事業事務局

電話 019-651-5111 (内線 7022) メール [anniv@j.iwate-med.ac.jp](mailto:anniv@j.iwate-med.ac.jp)

## 体育大会壮行会が行われました



選手宣誓

7月2日（木）、矢巾キャンパス体育館にて、体育大会壮行会が行われました。この壮行会は、「東日本医科学生総合体育大会」「全日本歯科学生総合体育大会」を始め、岩手県民体育大会など各種体育大会が夏期に行われることから、参加学生を激励するために毎年行われています。

壮行会では、小川学長をはじめ、祖父江副学長や学友会総務局委員長の和泉 光晃さん（医学部4年）などが激励の挨拶を述べました。続いて、アーチェリー部の大友 康司さん（医学部3年、上写真）が選手宣誓を行いました。

## 感染対策講習会が行われました



講師の松永先生

院内感染対策講習会が、7月9日（木）から11回（録画映像による開催含む）にわたって歯学部4階講堂で行われ、総勢約1,900名の職員が参加しました。

講習会では、藤田保健衛生大学副学長・皮膚科学講座教授の松永佳世子先生を講師（上写真）に迎えて「手指衛生による手荒れの予防と治療」と題した講演が行われました。

参加者は熱心に聴講し、感染拡大を最小限に抑えるための手指衛生や医療現場における手袋の選択について理解を深めました。

## 花巻温泉病院で「七夕さんさ会」が行われました



さんさ踊りを披露したメンバー

7月11日（金）、花巻温泉病院で「七夕さんさ会」が行われました。

この「七夕さんさ会」は、盛岡さんさに向けた練習成果の披露を兼ねて、例年7月の七夕会に合わせて開催されています。

当日は、職員が「七夕くずし」「栄夜差踊り」「新花巻温泉音頭」を披露すると、踊りに合わせた患者さんの手拍子が会場内に鳴り響き、お祭りさながらの活気あふれる催しとなりました。

## 日本災害医療ロジスティックス研修が行われました



矢巾キャンパスでの研修の様子

7月16日（木）～18日（土）、矢巾キャンパスの災害時地域医療支援教育センターをメイン会場に、第3回日本災害医療ロジスティックス研修が行われ、全国各地から約60名が参加しました。

研修では、派遣目的地までの円滑な到達や衣食住の確保などのロジスティックスの基礎の他、通信断絶時における衛星電話の確保などについて、学びました。

また、県内各地の医療機関・高校・高速道路サービスエリアの各施設にて、大規模な災害を想定した実践的な訓練を行い、各拠点での本部の立ち上げと本部内におけるロジスティックスの役割、他組織間の連携について理解を深めました。

## オープンキャンパス2015が行われました

7月25日(土)・26日(日)の両日、矢巾キャンパスでオープンキャンパス2015が開催され、岩手県内をはじめ全国各地から高校生とその保護者など約900名が参加しました。

当日は、小川学長による大学紹介や希望する学部に分かれてのミニ講義、体験実習のほか、学食の無料体験、在学生とのフリートーク、教員による個別相談、ドクターヘリ基地の見学など盛りだくさんの企画が用意され好評を博しました。

参加した高校生らは、大学生活に夢や希望を膨らませていた様子で、将来の進路を決めるための有意義な機会となったようです。



大勢の来場者で賑わうエントランス



小川学長による大学紹介



骨学体験



学食無料体験

## 平成27年度市民公開講座が行われました

今年で36回目を迎える市民公開講座が、7月28日(火)から3日間にわたって矢巾キャンパス大堀記念講堂で行われました。

この市民公開講座は、大学開放活動の一環として毎年行われているもので、5講座が開設され、延べ約760名の一般市民の皆さんが受講しました。参加者は熱心に受講され、貴重な学習の機会となったようです。

(下段左は、口腔保健育成学歯科矯正学分野 佐藤和朗教授の講座「噛み合わせと無呼吸の関係」)



# シリーズ 職場めぐり

## 中央臨床検査部 (循環動態検査室)

循環動態検査室は、本院生理機能検査室と共に中央臨床検査部の生理機能部門に属し、主に循環器医療センターの外来・病棟患者様の生理検査を担当しています。検査室は、循環器医療センター2階の外来診察室の奥にあり、女性事務員2名と臨床検査技師11名（男性1名、女性10名）が働いています。日替わりで検査当番の医師、検査レポートを認証する医師、症例検討を行う医師等々が集まり、明るくオープンな雰囲気の検査室です。

主な検査は、成人の循環器疾患や小児の先天性心疾患に対する心電図検査、心エコー図検査、運動負荷検査等で、高度な専門医療に対応するため、認定超音波検査士やスーパーソノグラファーなどの専門資格者が多いのも特徴です。目下、矢巾新病院と内丸メディカルセンターの2つの医療機関での検査体制の確立のために、循環器内科・心臓

血管外科・循環器小児科の先生方のご指導を頂きながら、高い知識と技術を有する若い技師の育成に努めているところです。

(主任臨床検査技師 高橋 康子)



## 看護部 (中病棟9階)

中9階は、病床数76床の消化管・肝臓内科病棟です。対象とする患者さんは急性期から慢性期、終末期まで幅広く、肝疾患・胆膵系の疾患・胃腸などの消化管疾患の方々が入院されています。治療としては、内視鏡・腹部血管造影・ラジオ波焼灼療法・化学療法などが行われています。

また、入退院が著しく緊急入院も多く忙しい病棟ですが、平均年齢29.5歳のスタッフ全員でいつも明るい雰囲気の中、笑顔で優しく看護をおこなっています。肝疾患・消化管疾患は治療を受けながら病気と上手に付き合っていかなければならない場合が多く、入退院を繰り返される患者さんも少なくありません。そのため、私たちは継続した看護が行えるよう、2名の緩和認定看護師を含めたスタッフ全員で「患者さんやご家族の思いをよく

聴き、個々に応じた気配りのある看護を提供する」を病棟目標に掲げ、日々取り組んでいます。

(看護師長 高島みゆき)



## 速報

学校法人岩手医科大学並びに学校法人岩手女子奨学会は、学校法人岩手女子奨学会が設置する岩手看護短期大学の経営を学校法人岩手医科大学に移管することについて、本年3月に文部科学省へ設置者変更認可申請を行っていましたが、この度、認可されましたのでお知らせいたします。

これにより、来年4月から岩手看護短期大学を学校法人岩手医科大学が経営することになります。

今後は、岩手医科大学に当該短期大学を母体とした4年制の看護学部を設置する準備を進めていきます。

### 今後の予定

- 平成27年 8月 岩手看護短期大学の設置者変更認可
- 平成28年 3月 看護学部設置認可申請
- 平成28年 4月 学校法人岩手医科大学に岩手看護短期大学設置
- 平成29年 4月 看護学部新設

## 理事会報告（6月定例－6月29日開催）

### 1. 教員の人事について

地域医療薬学科 教授 高橋 寛  
（前（有）ミヨシファーマシー 薬剤師）  
泌尿器科学講座 准教授 大森 聡（前 同講座 講師）  
解剖学講座人体発生学分野 准教授 燕 軍  
（前 同分野 講師）  
医学教育学講座 准教授 田島 克巳（前 同講座 講師）  
（発令年月日 平成27年7月1日付）

### 2. 職員の人事について

薬剤長 柳田 博（前 主任薬剤師）  
（発令年月日 平成27年7月1日付）

### 3. 岩手医科大学医療専門学校学納金減免規程の一部改正について

### 4. 看護学部設置の基本方針について

看護学部設置の基本方針（案）について、名称を看護学部看護学科、修業年限を4年制、取得する学位を学士（看護学）、開設年月を平成29年4月として進めることを確認

### 5. 不動産取得税算定に伴う附属病院移転用地の用途について

## 岩手医科大学は2017年に創立120周年を迎えます



誠のあゆみ、  
未来へつなぐ

創立120周年記念ロゴマーク・スローガン

### 《岩手医科大学報編集委員》

小川 彰 菊池 初子  
影山 雄太 江刺家和恵  
松政 正俊 佐々木さき子  
齋野 朝幸 米澤 裕司  
小山 薫 佐々木忠司  
藤本 康之 畠山 正充  
佐藤 仁 大須賀志穂  
成田 欣弥 武藤千恵子  
山尾 寿子 野里三津子

### 編集後記

トピックスに掲載している日本災害医療ロジスティックス研修の撮影は昨年に引き続いての事ですが、回を重ねる度に充実度が増しているのを感じました。

大災害など不測の事態を想定して備えることは、困難ではありますが、とても意義のある事だと思えます。

運営スタッフ、参加者の熱意と努力を見ると、あの日以来よく耳にする「想定外」という言葉には少し違和感を覚えてしまいます。

（編集委員 畠山 正充）

### 岩手医科大学報 第467号

発行年月日 平成27年8月31日  
発行者 学長 小川 彰  
編集 岩手医科大学報編集委員会  
事務局 企画部 企画調整課  
盛岡市内丸19-1  
TEL. 019-651-5111（内線7023）  
FAX. 019-624-1231  
E-mail: kikaku@j.iwate-med.ac.jp

印刷 河北印刷株式会社  
盛岡市本町通2-8-7  
TEL. 019-623-4256  
E-mail: office@kahoku-ipm.jp



## 難治性神経性疼痛に対する脊髄刺激療法

「Mother's Hand」。子供の頃に痛いところをお母さんの手で撫でてもらうと不思議と痛みが和らいだという経験はありませんか。なぜ痛いところを手で撫でると痛みが取れるのでしょうか。母の愛？確かにそれは大きいですが、科学的には撫でるといふ行為により生じる「触覚」が痛みという「痛覚」を抑える作用があると考えられています。これは「ゲートコントロール理論」と呼ばれる昔から信じられてきた痛み軽減のメカニズムのひとつです。今回ご紹介するのはそんな母の手の代わりに「電気の手」で痛いところを撫でてあげる治療法（脊髄刺激療法：SCS）です。

SCSは痛みを感じる領域に一致した頸椎や胸椎の脊髄高位の硬膜外に刺激用電極を留置し、硬膜越しに直下の脊髄後索（触覚を伝える経路）に微弱な電気を流す治療法です（図1）（図2）。患者さんは痛い部位にまるで撫でられているような心地よい電気刺激感を感じ痛みが和らぎます。まさに深くて手が届かなかった痛いところに手が届く治療法です。脊髄に直接電極を刺すわけではないので安全性が高く、仮に効果がなかった場合は抜去するだけで元の状態に戻すことができます。また、一部条件を満たせば当院

においては術後にMRIも撮像可能です。対象疾患は神経因性疼痛全般ですが、特に有効なのは腰椎術後の下肢痛や末梢血管障害による虚血性神経性疼痛などの末梢神経障害性疼痛です。末梢循環改善効果も期待できるため壊死を起こしかけた足趾を切断しないで済んだという報告も多数見受けられます。最近では、機序はよくわかっていませんが、脳卒中後疼痛などの中枢性疼痛へもある程度の効果が期待できることもわかってきました。しかしながら、脊髄完全離断や引き抜き損傷など神経が完全に切れてしまった症例には効果が期待できません。また、リウマチやがん性疼痛などの侵害受容性疼痛や心因性疼痛にも効果が期待できないため、あらかじめ疼痛のタイプを十分に鑑別しておく必要があります。常に麻酔科にもご協力を頂きながら治療にあたっております。

痛みを完全に取り除くことは難しくても何割かでも軽くしてあげることができれば、慢性難治性神経痛に悩んでいる方にとっては大きな救いとなります。SCSはそのために研究開発された治療法です。難治性の痛みでお困りな方がいらっしゃいましたらご相談ください。

図1

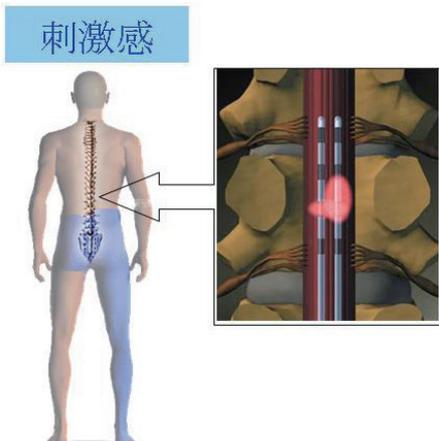


図2

